



ひかりのこつうしん No.8

ひかりの子幼稚園
2023. 12. 22

残暑厳しい8月末から2学期が始まりお芋ほり、運動会、秋のピクニック、ミニ祭り、クリスマス会と子ども達とたくさんの行事を経験し、あっという間の4カ月でした。クリスマス会ではお子さま一人ひとりの成長を、保護者の皆様と共に喜び、お祝いできたこと心より感謝いたします。

さて、この2学期は、「置き去り防止こども支援活動」を園全体として取り組んでまいりました。“ひとりぼっちにさせない取り組み”や“ルールを理解”など子どもと一緒に考え、深め、有意義な時間を持つことができました。今月は、“もしバスの中でひとりぼっちになってしまった時に自分の身を守る方法”の動画を用いた安全教育を実施し、具体的に学ぶ機会を持ちました。

この動画はバス添乗の職員が作成したものです。「リュックを担ぎ、カラー帽子をかぶったクマのぬいぐるみ“ひかり のこちゃん”がバスに取り残されてしまいました・・・。」というところから始まり、ひとりぼっちになった時に助けを呼ぶ方法を説明しています。最後は、「ひとりぼっちにならないよう、みんなで見守っていきましょう」として結んでいます。



のこちゃんは眠ってしまいました

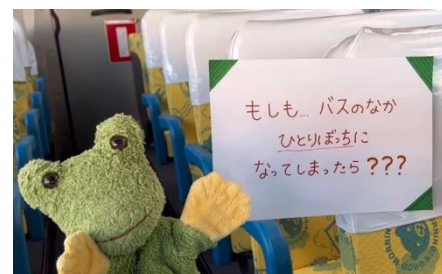


「起きて、着いたよ！」



みんな降りてしまい

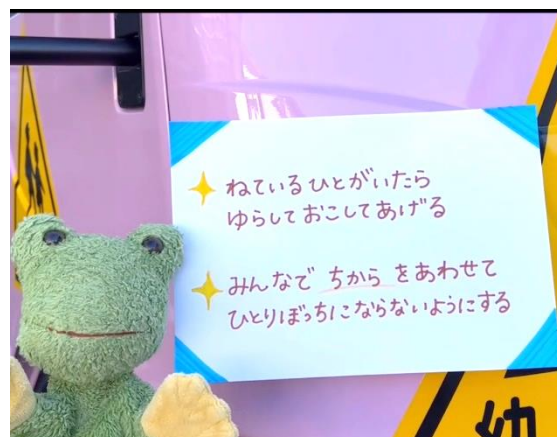
誰もいなくなっていました



うさぎ号の場合: クラクションを押す
つばめ号も同様



ひよこ号の場合: たすけてボタンを押す
きりん号も同様



子どもたちはこの動画にとっても関心を持ち、真剣に観ていました。
「やり方わかった。」
「家でクラクション押す練習したよ。」
「楽しかったあ。もう一回見たい！」
「今日お休みの人にもこのビデオ見せてあげたいな。」
(お休みの方にも観ていただく機会があります)
「寝ている人を見たら起こしてあげる。」
「私、バスの中で寝ちゃうけど、起きてって言われたら必ず起きるよ。」
などの感想が子ども達から出ました。

今回の取り組みは1回きりではなく毎年繰り返し観て、こども達の意識の中に「安全教育」を定着させていきたいと考えています。

そして何よりも大切にしたいのは、置き去りになった人の気持ちに関心を寄せ、行動が変容していくことです。この考え方はバス内のみならず、これから生きていく上でとても大切な、共感する力や思いやりの心につながると確信しています。

園では実際にこども達がクラクションを鳴らすことはしませんが、各家庭の判断で必要と思われる方は、おうちでお子さんと話し合い経験してみてください。

気がつけば2学期が終わり、2023年も終わろうとしています。
皆さんにとって、来る年が希望に満ちた幸せな一年でありますように、心からお祈りしています。今年もありがとうございました。

園長 松本直子